

令和5年9月の豪雨災害、あの日から1年

風水害への備えを確認しよう

問合せ 防災対策課
☎ 内線 337



宮田川 (日立中央IC付近)



清掃センター南側 (市道2004号)



沢平地区

近

年、全国各地で記録的な大雨の発生などにより、洪水や土砂崩れなどの風水害による被害が頻発化しています。

本市においても、昨年9月の台風13号に伴う豪雨災害では、線状降水帯の発生により、観測史上最大の雨量を記録し、市内全域で河川の溢水による家屋等の浸水被害や冠水、土砂崩れによる道路の通行止めなど、多くの被害をもたらしました。

台風シーズンである今、私たちは風水害に対してどのような備えたらよいでしょうか。

風水害は、いつ発生するか分からない地震と異なり、事前に予測ができるという大きな特徴があります。

このため、事前に**1**避難情報の種類と考え方、**2**地域の危険な場所を把握し、**3**避難の考え方を知ることなどにより、危険から確実に自身の身を守ることができます。

令和5年9月の豪雨災害から1年！

今号では、風水害への対応で重要な3つのポイントなどを紹介します。

風水害への対応で重要な **3** つのポイント

1 避難情報の種類と考え方を知る

災害の危険性を知らせる情報として、市が発令する「避難情報」と気象庁などが発表する「防災気象情報」があり、5段階の警戒レベルで分けられています。

警戒レベル	避難情報	皆さんがとるべき行動	防災気象情報	
危険度 ↑	5 緊急安全確保	命の危険！直ちに安全確保 すでに安全な避難ができず、命が危ない状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動などする。	大雨特別警報 氾濫発生情報	
	警戒レベル4までに必ず避難！			
	4 避難指示	危険な場所から全員避難 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	
	3 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等*は避難 高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。 *高齢者等＝高齢者、障害のある方など、避難に時間を要する方	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	
	2	自らの避難行動を確認 ハザードマップなどにより、自宅などの災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	
1	災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性)		

Point

- ☑それぞれの警戒レベルに相当する防災気象情報を収集し、早めの避難判断に役立ててください。
- ☑市からの避難情報が発令されていなくても、危険を感じたら迷わず避難しましょう。
- ☑警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

警戒レベルは、線状降水帯の発生などにより急に高まることがあります。線状降水帯が発生した際の避難は大変危険ですので、自宅の2階への避難など、「命を守る行動」をとるようにしましょう。



2

地域の危険な場所を知る



ハザードマップ
(市 HP)

自宅や職場の周辺などで想定される危険や、避難先までの道のりに危険がないかなどを事前に把握することが重要です。市が公開しているハザードマップで確認しておきましょう。

災害の種類によって ハザードエリアは異なります！

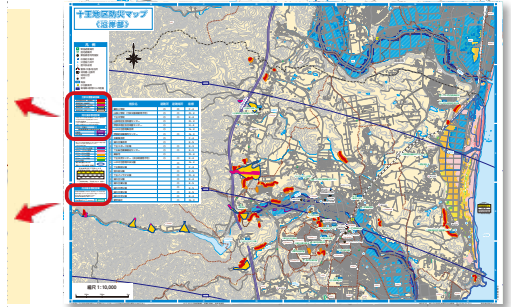
- ☑ 台風などの大雨による洪水
河川浸水想定区域（十王川、久慈川・茂宮川）
- ☑ 短時間の集中豪雨 内水浸水想定区域
- ☑ 土砂崩れ、地すべり、土石流 土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域	
特別警戒区域（急傾斜）	
警戒区域（急傾斜）	
特別警戒区域（土石流）	
警戒区域（土石流）	
警戒区域（地すべり）	

河川浸水想定区域	
水防法に基づく想定最大規模降雨（1000年に1度の雨）により浸水が想定される区域を表示したもの。 【想定最大規模降雨】 十王川：24時間681.9ミリ（平成29年8月指定） 花貫川：24時間684ミリ（平成29年8月指定）	
十王川・花貫川	
家屋倒壊等氾濫想定区域	
氾濫流	
河岸浸食	

内水浸水想定区域	
想定最大規模降雨（1000年に1度の雨）により、既存の排水施設で処理しきれない内水が氾濫した場合に、50cm以上の浸水が想定される区域を表示したもの。 【想定最大規模降雨】1時間153ミリ	
内水浸水エリア（50cm以上）	

災害が発生した際の避難所や避難場所などもハザードマップから確認できます。



3

避難の考え方を 知る

避難と聞いて最初に思い浮かぶのは、小中学校などに設置される「避難所」かもしれませんが、避難先は「避難所」だけではありません。ハザードマップにより危険性を確認し、自宅周辺が安全であれば、自宅に避難する「在宅避難」をしましょう。また、知人や友人の自宅などへの避難を事前に調整しておくことも有効です。あらかじめ、自分の状況にあった「避難先」を検討しておきましょう。

自宅周辺が安全なら
在宅避難



災害リスクのあるご家庭の方へ マイタイムラインを作成しよう

「マイ・タイムライン」とは、台風や大雨の風水害に対する事前の準備と行動を、あらかじめ記録する行動計画のことです。お住まいの地域の特性や家族構成によって、とるべき行動やタイミングが異なり、事前に「いつ」「誰が」「何をするのか」を決めておくことで、災害時に落ち着いて避難行動をとることができます。

ハザードマップで自宅やその付近に色が塗られている（洪水、浸水、土砂災害などの危険性がある）ご家庭は、前述の3つのポイントを踏まえ、実際にマイ・タイムラインを作成してみましょう。



「WEB版マイ・タイムラインを作ろう」(右記QR)では、スマートフォンなどから簡単にマイ・タイムラインを作成できます。



マイ・タイムラインは、家族で共有して、自宅のみなが見える場所に貼っておきましょう。また、年に1度は内容を確認し、見直すことも大切です。

市の風水害対策の取組

風水害への対策をより強固なものとするため、市が行っている各種取組を紹介します。

防災情報配信サービス



防災・防犯情報配信サービス「安心ひろめるプラス」では、市が発信する防災・防犯情報や気象情報をいち早く、LINE やメールでお知らせしています。詳しくは市 HP (右記 QR) をご覧ください。



市公式 LINE の登録をお願いします

友だち追加はこちらから→



市公式 LINE では、防災情報などを速やかに通知するほか、ハザードマップや避難所の開設状況、防災行政無線の内容などの情報をまとめて掲載しています。

平常時には人気のイベントやロケ情報なども発信！



避難所環境の充実

小中学校などでの避難所生活がより快適になるよう、新たな備蓄品の導入などを行っています。



近年の備蓄品整備状況

防災備蓄用寝袋、電気ケトル、蓄電池、生理用品、スポットクーラー、防災用万能ティッシュ、小型ライトなど

住まいの浸水対策への支援

大雨などによる住宅の浸水被害を防止するため、浸水対策工事を行う方を対象に経費の一部を助成しています。



防水板設置工事



住宅かさ上げ工事

詳しくは市 HP をチェック



防災行政無線サポートセンター

防災行政無線のお悩みを解決するための電話相談窓口を設置しています。戸別受信機の不具合、操作方法や受信状況の確認など、お気軽にご相談ください。



防災行政無線サポートセンター専用ダイヤル

☎ 050-2017-3762

毎日午前 9 時～午後 4 時 30 分

土のうステーション

風水害時の備えとして、必要に応じていつでも土のうを持ち出せる「土のうステーション」を整備しました。ご自宅の浸水防止対策にお役立てください。



詳しくは市 HP をチェック



自分の命は自分で守るという「自助」の考えのもと、災害に対する事前の備えや、災害時の対応を行うことが大切です。今回ご紹介した「風水害への対応で重要な3つのポイント」を踏まえ、上記の市の取組などを活用しながら、いつ来るか分からない災害に備えましょう。

災害への備えについて、市 HP で公開中！

